

山口県立大学社会福祉学部 社会福祉学会

Newsletter



公立大学法人
山口県立大学
Yamaguchi Prefectural University

発行／山口県立大学社会福祉学部社会福祉学会
〒753-0021 山口市桜島6丁目2-1 TEL:083-929-6222 FAX:083-929-6261
E-mail:sw-gakkai@yamaguchi-pu.ac.jp



▲令和5年度社会福祉セミナー



▲横山順一先生による基調講演



▲卒業生による実践報告



▲交流会の様子



社会福祉学会長
藤田久美

令和5年4月より、社会福祉学部附属子ども家庭ソーシャルワーク教育研究所（以下、研究所）が設置されました。今年度の学内学会では、開所したばかりの研究所の活動紹介をさせていただきました。そして、研究所の主任研究員である本学部の横山順一准教授による基調講演「近年の子ども・家庭福祉の動向から～新しい制度・施策・資格制度～」をテーマに参加した学会員と共に学ぶことができました。今回の学会において、研究所の取組について卒業生の皆様にお伝えすることができたことをうれしく思います。また、基調講演では、近年の子ども・家庭福祉の動向を知り、激変する社会の中で生きる子どもを守るために、学会員それぞれの立場でできることを再考する機会になったのではないかと思います。

さて、研究所においては、調査研究、人材育成、地域連携の3つの事業を展開しています。これらの事業すべてにおいて社会福祉専門職として働いている卒業生との連携、子育て中である卒業生の利用等、卒業生のお力をかりながらすべての子ども家庭の幸福の実現を目指すことを目的とした研究所の事業をすすめていくことができることに感謝しています。研究所はまだ開所して1年足らずですが、今後も、卒業生と在校生と教員が交流できる場となればよいと考えていますので、ホームページで情報をご覧いただければ幸いです。

本学会は、社会福祉の現場での活躍する卒業生の実践活動や研究を支えるための活動、学会員同士の連携・ネットワーク化の推進を主な目的として活動しています。今後も、社会福祉学部の教員、在学生、卒業生とのつながりを大切にし、地域に貢献できる人材の育成を目指しながら、学会員同士の学び合いや交流機会を提供できるような運営を目指したいと思います。引き続きご指導・ご助力を賜りますようお願い申し上げます。



令和5年10月21日(土)に第24回山口県立大学社会福祉学会総会および第22回社会福祉セミナーを開催しました。

今年度の社会福祉セミナーでは、令和5年4月に社会福祉学部附属として開所した「子ども家庭ソーシャルワーク教育研究所」の設立の経緯と活動内容について、所長の藤田久美先生に紹介していただきました。

また、基調講演では、山口県立大学社会福祉学部准教授の横山順一先生より「近年の子ども・家庭福祉の動向から～新しい制度・施策・資格制度～」というテーマでご講演いただきました。在学生や卒業生より、「児童福祉の抱える問題や社会や支援者がどうするべきなのか考えることができた。」、「新しい資格や子ども家庭庁について知ることができてよかった。」などの感想がありました。



分科会（実践報告・交流会）

分科会では、「コミュニティソーシャルワーク」、「精神保健福祉」、「子ども家庭」の分野でご活躍されている卒業生5名の方に実践報告をしていただきました。実践報告後には、各分野に分かれて久しぶりに在学生・卒業生・教員との交流を楽しみました。



実践報告を終えて…

▼実践報告発表の様子

▼実践報告をしていただいた卒業生



コミュニティソーシャルワーク分野（遠藤 高大さん）

山口県社会福祉協議会に勤務している遠藤と申します。卒業してから10年が経過しますが、県立大学は普段の仕事で関わらせていただくことが多く、いつも身近な存在だと感じておりました。この度は、社会福祉学会での実践報告といういつもと違う形で関わらせていただくことになり、当日は大変緊張しましたが、大学生活での様々な出会いや学びがあって、今があることを振り返る良い機会となりました。また、様々な分野で活躍されている先輩や後輩の方々、将来に向けて熱心に勉強されている在学生の方々のお話を聞き、自分ももっと頑張ろうと前向きな気持ちになることもできました。このような貴重な機会をいただきありがとうございました。

コミュニティソーシャルワーク分野（谷 由衣さん）

山口県に福祉職として入庁し、5年目になります。現在、生活保護のケースワーカーとして勤務しております。今回の実践報告を通し、自身の業務や生活保護受給者との関わりについて振り返ることで初心に立ち返ることができました。また、久しぶりに山口県立大学の温かさを感じ、大学4年間でいかに充実した時間だったかを改めて実感しました。これからも、言葉の奥にある想いを大切にできる支援者に近づけるよう頑張りたいと思います。貴重な機会をいただき、ありがとうございました。



精神保健福祉分野（岸本 陽平さん）

社会福祉セミナーでは精神保健福祉分野の実践報告を担当しました。主な内容としては私が勤めております山口県立こころの医療センターの概要や精神保健福祉士の業務、役割について報告しました。近年は様々なメンタルヘルスの課題から、精神保健福祉の領域は広がり、その中で医療や保健、障害福祉にまたがる精神保健福祉士に求められる役割は大きいと実感しています。セミナーを通して様々な領域で働いている卒業生や県立大学の先生方、在学生の皆さんと意見交換ができたことは大変貴重な機会となりました。

子ども家庭分野（秋貞 和さん）

生まれ育った山口県内で特別支援学校教諭として勤務しております。私自身、社会福祉学部での学びを教職の分野でどのように活かすのが悩みながら、子どもたちと向き合う毎日を送っています。この度、実践報告の機会を頂いたことで、自分の支援や手立てを振り返り、児童生徒とのかかわりや保護者連携において、大学での様々な経験が糧になっていることを改めて実感しました。また、各方面でご活躍されている卒業生の方やパワー溢れる在学生の皆様との交流、懐かしい先生方からのご助言を受けて、とても温かく、前向きな気持ちになりました。このような素敵につながりに感謝いたします。今後も学び続ける教員になれるよう頑張りたいと思います。



子ども家庭分野（天野 莉香子さん）

兵庫県の児童福祉司として入庁し、中央こども家庭センターの一時保護所で勤務しはじめて4年目になります。日々の児童監護に追われ、目の前のことばかりになってしまっていたのですが、今回実践報告をするにあたり、学生時代に学んだことやどのような思いでこの仕事に就いたか等振り返って言語化することで、仕事だけでなく自分自身についても理解が深まったような気がします。また、他の方の発表や学生の話聞いて、懐かしくも刺激をもらったので、これから気持ちを新たに、さらに頑張っていこうと思います。貴重な機会をいただき、ありがとうございました。



令和4年度 事業報告

- 1 第23回社会福祉学会総会(R4.10.1)
- 2 第21回社会福祉セミナー開催(R4.10.1)
- 3 学会広報誌「Newsletter23」発行

令和4年度 決算

【収入の部】

繰越金	3,338,088
会費	530,000
印税	3,625
事業費	0
寄付	85,620
利子	31
計	3,957,364

【支出の部】

事務費	8,257
役員費	159,950
事業費	116,600
セミナー運営費	213,987
幹事会費	0
計	498,794

繰越 3,458,570円

令和5年度 事業計画

- 1 第24回社会福祉学会総会(R5.10.21)
- 2 第22回社会福祉セミナー開催(R5.10.21)
- 3 学会広報誌「Newsletter24」発行
- 4 学会員活動助成事業
- 5 社会福祉士・精神保健福祉士実習指導者講習会受講料助成事業
- 6 卒業生の社会福祉士・精神保健福祉士国家資格取得支援

令和5年度 予算

【収入の部】

繰越金	3,458,570
会費	540,000
印税	3,500
事業費	27,000
寄付	10,000
利子	50
計	4,039,120

【支出の部】

事務費	20,000
役員費	200,000
事業費	320,000
セミナー運営費	355,000
幹事会費	93,000
計	988,000

社会福祉学部附属 子ども家庭ソーシャルワーク教育研究所

子ども家庭ソーシャルワーク教育研究所では、困難な状況にある子ども家庭支援を担う人材育成のために3つの事業を進めています。学生は、学生子ども家庭ソーシャルワーカーとして「子ども家庭しあわせプロジェクト」にて、学内で子ども家庭支援のボランティア活動や研修に参加しています。ホームページ上の公式ブログでは、活動の様子を紹介していますので、ぜひご覧ください。

公式HP・ブログはこちら



新キャンパスの写真

新キャンパス本館（2024年2月撮影）

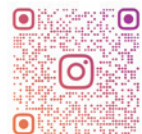


旧校舎（D館前）のスペースいわきの石も新キャンパスに移転しました。



学内学会公式SNS フォローお願いします！

▼公式Facebook ▼公式LINE ▼公式Instagram



YPU_SHAFUKU_GAKKAI

卒業生支援事業

社会福祉学会では、卒業生支援事業として以下の3つの事業があります。

- 卒業生の国家資格取得支援事業（社会福祉士・精神保健福祉士）
E-Learning（赤マル福祉）を卒業生価格で利用できます。令和6年度、受験される方は是非ご利用ください。
利用期間：令和6年10月～令和7年1月（4カ月間）予定
利用内容：国家試験WEB学習およびWEB模試1回分
申込期間：令和6年8月1日（木）～8月30日（金）
申込方法：ご希望の方は事務局にメールにてお申し込みください。
- 実習指導者講習会受講料助成事業（上限：1万円）
社会福祉士、精神保健福祉士の実習指導者講習会の受講料の一部を助成いたします。
- 学会員活動助成事業（上限：1万円）
卒業生の個別の研究や研修・勉強会等の開催にご活用ください。

詳細は、事務局にお問い合わせください。

☎083-929-6222 ✉sw-gakkai@yamaguchi-pu.ac.jp

